



中学校通級指導教室の運営について

～生活の中で活用できるスキルを目指して～

大館市立第一中学校 教諭 柏 崎 あつ子

1 はじめに

中学校通級指導教室の開設に当たり、この教室の対象生徒や入級の仕方、指導内容等を伝え、先生方の理解を得ることが今年度の課題であった。そのため、前半では、県内の通級教室の設置状況・目的・対象生徒、次に本校の入級状況・通級時間帯・入級手続きに関して説明した。後半は、ADHDやLD生徒への指導の実際について発表した。特に、通級で指導した事が、実際の生活の中で活用されるためにどうあればよいのかを模索した実践である。

2 指導の実際

(1) 広汎性発達障害が疑われる生徒への実践

＜実践1＞周りの状況が判断できず、自分勝手な行動をとりがちな生徒に対しての指導

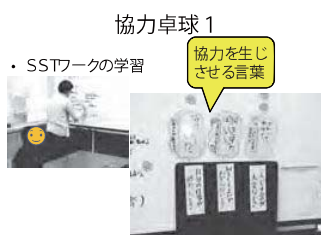
① 「学級生活の常識」の振り返りカードでつなぐ学級での成功体験

・簡単な「友達のお母さんに会ったら」というソーシャルスキルワークで常識のないAさんの行動についての思考

- ・学級担任に聞いていた生徒の困った行動から「学級生活の常識」への波及
- ・Aさんにならないように通級の指導のたびに振り返りカードによる意識付け
- ・通級の指導を受けて、学級担任の支援と学級での成功体験

② 「協力」の意味について実践を通して学ぶ場の設定

役割分担することや自分の仕事が終わっても手伝う考えをもっているが実生活では、何をしてよいのか分からず、一人で勝手な行動をしていることが多い生徒



- ・ 協力のかかわりが生じる言葉の思考（SSTワーク）
- ・ 協力の言葉を実際に使う場の設定「協力卓球をしよう」
- ・ 他の通級生との合同学習「ミニホットケーキの会を成功させよう」→「協力卓球」

自分の仕事が終わっても手伝う姿やその場の状況に合わせた「代わるよ。」というSSTワークで考えた言葉以外の言葉が出てきた。協力卓球は、相手のことを考え打ちやすい球を返す必要があるため、この生徒に対してはよい学習と考えられた。

学級でよりよい人とのかかわりが生まれる練習を通級指導教室で行うことができた。

＜実践2＞状況の判断が特有なために友達とのトラブルが発生しやすく、感情コントロールができない生徒に対しての指導

① イラ立ちから、掲示物を破ってしまった後の支援

- ・トラブルの原因を冷静に理解するために吹き出しや関係図の活用
- ・級友の気持ちと自分への誤解に気づき、授業中に取り組むべき行動を一緒に考え、改善を図る。

② 周りの人の温かい言葉に目を向けさせるための支援

- ・「うれしいなふわっと言葉」(SSTワーク)
- ・日常の心が温かくなる言葉への気づき ※右写真「自分のできることを増やそう」カード
- ・家族の言葉から学級の友達の言葉への気づきの拡充
- ・通級の指導を学級でも意識できるように、「週1回登校」「音読練習」など、生徒一人一人に応じた目標をもたせ、がんばりの記録としてのカードの活用



(2) LDが疑われる生徒への実践

① 音読

- ・読む機会の拡充 (興味をもてるような内容の準備)
- ・単元に入る前の音読の予習

② 数と計算

- ・「+」と「-」を生活経験から実感できる教具
- ・具体的な操作を通しての計算のイメージ
- ・ゆっくり納得がいくまでの取組

③ 言葉 ※言っていることが伝わりにくい生徒

- ・「分かりやすく話すために」というSSTワーク
- ・学習したことを話す実践の場としての合同学習

① 音読

- ・ことわざカルタ
- ・生き物言葉クイズ



犬も歩けば棒に当たる



井の中の蛙

② 数字・計算

- ・計算の温度計
- ・道のり、速さ、時間



3 成果と課題

(1) 開級に関して

- 中学生向けの通級指導教室の開設の情報提供ができた。(校長会での説明)
- 指導教室環境作りが進んだ。(備品・指導参考資料の準備)

(2) 入級と退級に関して

- 校内外の通級生徒の入級が進んだ。
- 困り感を抱える生徒の増加や障害の多様化への対応は、生徒の実態に応じて、スクールカウンセラーや校内適応教室担当者と連携して校内体制で判断していかなければならない。
- 二次障害(不登校・無気力等)に対しては、不登校になってしまうと対応が難しいため、校内体制を明確にした早期対応が望ましい。

③ コミュニケーション

「ミニホットケーキの会を成功させよう」

・合同学習

- ・分かりやすく話すために
- ・短く
- ・大事な事から



(3) 指導に関して

- 校内通級生においては学級担任の協力が得られ、通級と学級と家庭との連携ができた。
- 課題としては意欲的に取り組める教材の収集と開発が必要である。
- 実践できるスキルまで高める指導の工夫が必要である。